

# 新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局  
京 浜 河 川 事 務 所  
新 横 浜 出 張 所 発 行  
電 話 045-476-5003  
2013年 2月18日【第35号】

## 港北区樽町2丁目、3丁目で河川敷道路整備工事を行っています

通行止および迂回路案内図

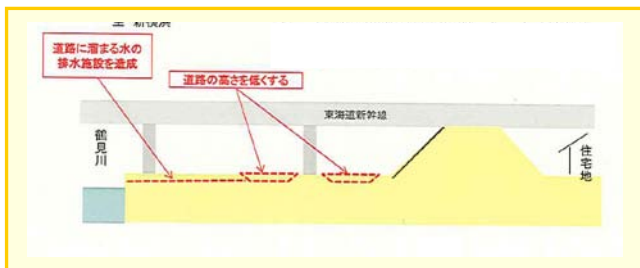


昨年3月、鶴見区駒岡4丁目の鷹野大橋下流側から鶴見川河川敷に降りられるスロープが完成しました。この道路は、ここから港北区新横浜3丁目まで繋がっています。

しかし、緊急用物資等を積んだ大型車両が走るためには、橋梁の下を横断する部分の桁下高が十分に確保されていない箇所がまだあり、鷹野橋人道橋と鷹野大橋の下を掘削し、桁下高を 3.8m 確保した構造と同じ工事を行う必要があります。

現在、港北区樽町2丁目、3丁目で行っている新幹線アンダーパス工事も、そのような構造とするためのものです。

この工事により、河川敷道路などを通行止め(左図の青色で着色した線が迂回路)としていますので、近隣の看板等をご覧下さい。沿川の皆さんへ ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



新幹線橋梁の下を大型車両が走れるように道路を切り下げています。(写真のとおり)



## 1月12日(土)19日(土)新春ウォークで鶴見川全川を歩く



12日の参加者

平成25年1月12日と19日(土)鶴見川流域で行われた『つるみ川新春ウォーク』は、両日も天候に恵まれ流域から集まった人達で、大いに賑わいました。

12日に源流から出発し中流域の鴨居まで歩きました。

19日は、鴨居から鶴見川河口付近の生麦まで歩きました。

主要な地点で市民団体、関係自治体、京浜河川事務所の方から鶴見川の歴史、治水、環境等について説明が行われました。

参加者は、主催者発表で両日合わせて、約220名となりました。

19日の参加者



# 鶴見川多目的遊水地の排水門を『はまれぽ.com』で取材

1月29日に横浜を中心とする地域情報サイト『はまれぽ.com』から鶴見川多目的遊水地に設けられている遊水地排水門の取材がありました。

「日産スタジアム近くにある水門の小部屋。その正体とは!？」というタイトルで、「日産スタジアム近くの鶴見川岸にある大きな水門の上部にある小部屋が気になっています。中はどんなでしょうね・・・宿直室?会議室?・・・。」こんな質問から入り、水門の様子を詳しく紹介しています。

2月7日に、このサイトにアップされています。是非、ご覧ください。

はまれぽ.com <http://hamarepo.com/>



## あなたのお気に入り「鶴見川流域の風景写真展」2月末まで開催しています



鶴見川流域センターでは、「あなたのお気に入りの鶴見川流域風景の写真募集を1月20日まで行ってしました。

応募された作品は、鶴見川流域センターの1階から2階にかけての階段脇の壁を使って、展示紹介しています。応募数は49点で、来館者の投票により上位3点の作品を2階の展示ルームに掲載する予定です。

応募された写真は、富士山が入っているものが目立ちます。

日の出、夕日、雪で染まった河川敷などのものもあります。桜の入った写真も目立ちます。

平成22年12月に鶴見川の増水により、鶴見川多目的遊水地の越流堤から流れ込んでいる写真も大きくなると迫力があるように見えます。

### あとがき

都筑区川向町で横浜環状北線の工事が行われています。現在、大熊川の上端をトラス橋で横断しますが、2月25日から3月1日までにかけて送り出し架設を行う予定です。

3分間で1m送り出し、7分間で次の準備を行うことの繰り返しで、158mのトラス橋が対岸と接続します。首都高では、見学施設も設置しています。

鶴見川流域センターの屋上からも良く見えそうなので、楽しみにしています。

鶴見川沿川では、色々なことが行われています。目に停まったところを皆さんへ紹介できるよう努力していきます。

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

### 鶴見川流域センターは鶴見川の情報発信しています

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』は、流域にお住まいの皆様への情報発信施設として、また、洪水や地震時の防災拠点となる施設です。

鶴見川で舟運、緑化、クリーンアップなど幅広く活動を行っている『鶴見川舟運復活プロジェクト』の皆さんのご協力による展示を行っています。



【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)